

be動詞の定着ドリル(場面で選ぶ→対話完成→まちがい診療所→自分の番+解答)

Class _____ No. _____ Name _____

■ be動詞のきほん be動詞(am / is / are)は「=(イコール)」。主語と、名前・様子・場所を結ぶ。
I am Ken.(私=ケン)/This is a dog./You are kind. 主語で使い分け: I → am/you・2人以上 → are/1人・1つ (he, she, it, this)→ is. 否定はnotを足す、疑問はbe動詞を前に。
🎯 このプリントのゴール: 場面の中で am / is / are を選べる → まちがいを自分で見つけられる → 自分のことを3文で言える

1 ウォームアップ 主語に合うbe動詞を書こう。(30秒・声に出しながら)

I →()	You →()	He →()	This →()	We →()	Ken and Yuki → ()
------------	--------------	-------------	---------------	-------------	---------------------------

2 場面で選ぶ 場面を思いうかべて、正しいほうを○でかこもう。

(1) 転校生に自己紹介する	Hi! I(am / is)Riku. Nice to meet you!
(2) 家族の写真を見せながら	This(is / are)my sister. She(is / are)a nurse.
(3) 待ち合わせにおくれそうで電話	Where are you? — I(am / is)near the station now!
(4) 保健室の先生に友だちを説明	Ken and I(am / are)classmates. He(is / are)sick today.
(5) 兄たちのことを聞かれて	My brothers(is / are)high school students.
(6) 質問に答える	Are you a baseball fan? — Yes, I(am / is).

✓ (2)(4)は空所が2つ。主語が「写真の中のだれか」「今日休みのだれか」——場面から主語をつかまよう。

3 対話を完成 転校生のミカとの会話。()にbe動詞を書いて対話をつなげよう。

Mika: Hi! I(①)Mika.(②)you Riku?
Riku: Yes, I(③). Nice to meet you, Mika!
Mika: This school(④)big! Are the teachers kind?
Riku: Yes, they(⑤). Ms. Sato(⑥)my favorite teacher.

✓ ②は疑問文(be動詞が前)。⑤は the teachers(2人以上)を they で受けている。

4 まちがい診療所 正しい文には○、まちがいがあれば直して書こう。

(1) I am a tennis fan.	
(2) I am play tennis every day.	
(3) My mother are kind.	
(4) Is you from Osaka?	
【考える1問】(2)はなぜまちがい? 日本語で一言:	

✓ 全部がまちがいとは限らない。「直すところがない」と見抜くのも診療所の腕。

5 語順ビルド 日本語に合うように、語を並べかえて書こう。(文頭は大文字に)

(1) あなたは野球ファンですか。 [a / fan / you / baseball / are / ?]	
(2) 私の姉は今、東京にいません。 [not / my sister / in Tokyo / is / now / .]	

6 自分の番 廊下で新しいALTの先生に話しかけられた！ be動詞で自己紹介を3文書こう。

(1) 名前(I am ～.)	
(2) 自分のこと(部活・好きなもののファン など: I am a ～.)	
(3) 友だちか家族を1人紹介(My ～ is)	

✓ 書けたらチェック: am / is / are は主語に合っている？ (3)の主語は自分以外= is になっている？

☆豆ポイント！ いちばん多いまちがいは I am play soccer. のように、be動詞(=)と一般動詞(動作)を1つの文に2つ入れてしまうこと。「=のbe動詞」と「play・likeなどの動作の動詞」は、ふつう1つの文にどちらか1つだけ！

be動詞の定着ドリル(場面で選ぶ→対話完成→まちがい診療所→自分の番+解答)【解答・かんたん解説】

丸つけをしたら、まちがえた問題に✓をつけよう

1 ウォームアップ

I → am / You → are / He → is / This → is / We → are / Ken and Yuki → are

I だけ am。you と「2人以上」は are。他の1人・1つ(he/she/it/this)は is。

2 場面で選ぶ

(1) am (2) is / is (3) am (4) are / is (5) are (6) am

(4)は Ken and I=2人で are、後半の主語は He(ケン1人)で is。(6)の答えの主語は I なので am(Are you...? — Yes, I am.)。

3 対話を完成

① am ② Are ③ am ④ is ⑤ are ⑥ is

②は疑問文なのでbe動詞が先頭。⑤は they(先生たち=複数)→ are。1つの会話の中でも主語ごとに選び直す。

4 まちがい診療所

(1) ○(直すところなし) (2) I play tennis every day.(amを取る)

(3) My mother is kind. (4) Are you from Osaka?

【考える1問】の例: 「playは動作の動詞だから、=のbe動詞(am)はいらない。1つの文に動詞は1つ」など、自分の言葉でOK。

5・6 語順ビルド／自分の番(例)

5(1) Are you a baseball fan? (2) My sister is not in Tokyo now.

6の例: (1) I am Yuki. (2) I am a member of the art club. (3) My friend Ken is funny.

6は内容自由。主語に合ったbe動詞が選べていれば正解。(3)の主語が自分以外なら is。

■ まちがいが多かった人へ(学び直しコース)

①「1」を声に出して3回(I am, you are, he is のリズムで)→ ②「2」の(2)(4)で「主語はだれ？」を場面から指さし確認 → ③「4」の(2)をもう一度説明してみる → ④ 先生に「6」を見せてチェックをもらう